



2010年10月03日

【先週のメッセージより】 マタイ25:14～30

さまざまな恵みの良い管理者 矢吹 博先生



●社会人をやめ
神学校で聖書や

神学の厳しい学びを終え、卒業した。しかし、いざ教会の現場に遣わされた時、最初にするように命じられたのは教会付属の幼稚園の先生であった。いやであった。当時、既にその教会で働きをしていた今の妻と婚約していたが、彼女はもし幼稚園の働きを断るなら、婚約は解消と迫ってきた。子供は苦手であり、仕事は毎日の礼拝でその苦手な子供を相手に話しをすることであった。いやいや引き受けたが、まさに自分のプライドとの戦いであった。

●入園式の日、自分で教材を作り子供の前に立って初めての話しをした。お母さんと別れ別れにならなければならない子供たちを対象にしぼり、テーマは「いつも喜んでいなさい！」と話した。何と、子供たちは一生懸命話を聞いてくれた。この体験が私の働きのス

タートラインとなった。

●何でも「まずやってみよう。」と思うことが大切である。なぜならそこに神が委ねた賜物が潜んでいるかも知れないからだ。勿論、生まれ持った賜物もあるだろう。しかし、私は一步踏み出した時に自分の賜物と出会ったのだ。振り返れば、牧師として働いてきた年月のかなりの部分を子供達の働きのために用いてきた。

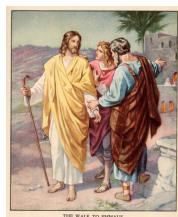
●この人生経験から、神が持って来てくださるものに対しては「できない」と言わないようにしている。今なお、気づかない賜物があるかも知れないからだ。グリニッチでの奉仕もそのようにしてお引き受けした。逃げないで祈りながら取組んでいくときに、神が委ねた何かを見いだすことになる。神から頂いているものを自分のために貯め込まず、神が与えてくださった賜物のよい管理者として歩んで行きたい。■

【今週の暗唱聖句】 申命記8：6

CS成長センター「成長」131号p30より

あなたの神、主の命令を守って、その道に歩み、主を恐れなさい。

●100%神に従っていると思うのは傲慢であるし、100%神から離れていると思うのも間違っている。むしろ、私たちは中途半端であることが多い。神への忠実は一瞬一瞬の営みである。自らの不完全さを思い、いつでも謙虚に主の命令に耳を傾け、従っていく者となろう。■



【旧約聖書の大きな流れと有名な話し】

1) 世界の始まり

天地創造
墮落と樂園追放
最初の殺人、礼拝者達
ノアの大洪水
バベルの塔／国々分裂

2) 族長達の物語

アブラハムの召命
ウル、ハラン、カナンへ
星を見上げて信仰義認
イサクを全焼のいけにえ
エサウとヤコブ
ヨセフと兄たち
ヤコブのエジプト下り

3) エジプトからの脱出

モーセの80年、燃える柴
十の災いと出エジプト
荒野で水とマナとウズラ
十戒の授与と犠牲律法
幕屋の建設

4) 約束の地・カナンへ

ヨシュアの選び
エリコの落城
カナン分割

5) 士師の時代

女士師デボラ
臆病なギデオン
サムソンとデリラ
最後の士師／サムエル

6) 統一王朝時代

悲劇の初代王、サウル
ダビデとゴリアテ
ダビデと王国確立
バテシェバとウリヤ殺害
知恵者ソロモン

7) 分裂王国と預言者活動

南ユダ／善王、悪王
北イスラエル／悪王
エリヤ／カルメル山での戦い
エリシャ／奇跡、ナマン將軍
北王国…アッシリア捕囚
イザヤ、エレミヤ預言活動
南ユダ…バビロン捕囚

8) バビロン捕囚にて

エゼキエルの乾いた骨の幻
ダニエルと仲間達の活動
ネブカデネザル王の回心
バビロン王と壁の文字

9) 帰還について

律法学者エズラ／神殿再建
献酌官ネヘミヤ／城壁再建
エステルとユダヤ人解放物語

10) 聖書が書かれない中間時代

旧約聖書の確定編纂
アレキサンダー大王世界制覇
旧約聖書ギリシャ語訳
マカベヤ革命と独立
ローマ帝国、ヘロデ傀儡政権

